

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年7月26日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	北九州市役所	代表者名	須山 孝行
担当者部署	デジタル市役所推進室デジタル市役所推進課	連絡先電話番号	093-582-2145
担当者役職	データ活用推進担当係長	担当者氏名	小川 慶史
住所	803-8510 福岡県北九州市小倉北区大手町1-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原 秀樹
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	・個別の質問への回答について、的確な説明をいただいた。
アドバイザーへの要望事項	3回にわたるご対応感謝いたします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年7月21日	13時00分	14時00分		60
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	行政情報分析基盤の導入を検討しているが、導入にあたり、①ASPへハイセキュアなデータを提供することの可否、②ASPへデータを提供する前のデータ加工のコスト(人手、費用)、③データ提供元の許可、などについて理解を深める必要がある。また、ASPへデータ提供するための中継サーバを構築する必要があると思われるが必要なリソースについて調査・検討が必要。ASPでの導入を検討しているが、オンプレといずれが良いか評価・検討が必要。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	上記課題・問題点がクリアされ、構築をめざす行政情報分析基盤について概要レベルで描くことができる状態となる。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	以下のような事項について説明いただいた。 ・データを関係部門より入手するにあたっての手続き、技術、費用 ・AIをEBPMの証拠とすることに関する考え方 ・中継サーバのリソース、費用 など	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	事前に作成・提供した質問事項一覧のうち、上記「アドバイザーに支援を受けた内容」について回答を得ることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	事前に作成・提供した質問事項一覧と回答内容を整理した「姫路市アドバイザー質疑応答」一覧を整理できた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし。	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 本事業を進めるにあたり、特にアンケートは必要ではないと考えているため。	
---------------	---	--

5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
------------	---------------------	-----------------

事業の最終的な目指す姿	行政データ分析基盤が構築され、職員がそれを活用するスキルを保有しており、データを活用した効果的・効率的な行政運営が実現できている。
-------------	---

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

